

第25回 登校拒否・不登校問題

全国のつどい in 京都



～語りあおう 学びあおう 子どもたちをまん中に～

わが子の登校拒否・不登校に悩む お母さん お父さん
胸をいためている先生方
ともに悩みこころをくだしているみなさん
京都 亀岡で全国の仲間たちと
思いや悩みを語りあいましょう



☆とき **2023年10月7日(土)～8日(日)**

10/7(土)受付11:30～ 開会12:30

10/8(日)受付 9:00～ 開会10:00

☆ところ **ガレリアかめおか** (生涯学習施設・道の駅)

〒621-0806 京都府亀岡市余部町宝久保1-1 ☎0771-29-2700

☆記念講演「子ども・若者の生きづらさと自己肯定感」

講師 **高垣 忠一郎**さん (心理臨床家、立命館大学名誉教授)

☆ 基礎講座、分科会、当事者・青年・子どもたちのひろばもあります

主催：登校拒否・不登校問題全国連絡会

：第25回登校拒否・不登校問題全国のつどい
in京都実行委員会

後援：京都府 京都府教育委員会
亀岡市 亀岡市教育委員会
南丹市 南丹市教育委員会
京丹波町 京丹波町教育委員会
京都市 京都市教育委員会
上記各社会福祉協議会
(以下申請中)
京都新聞、京都新聞社会福祉事業団

「登校拒否・不登校問題全国連絡会」とは

ひとりぼっちで悩む人をなくしたい

登校拒否・不登校の子どもたち、それを見守る親たちが、周囲に理解してもらえず、自分を責め、孤立してしまうことは珍しくありません。

ありのままに思いを語りあえる…わが子のこと、学校のこと、社会のことを本音で交流しあえたら…そんな願いから1995年、全国連絡会は発足しました。親、教師、専門家、研究者、また個人、団体を問わず、加入を呼びかけています。

【問い合わせ先】「第25回 登校拒否・不登校問題 全国のつどいin京都」実行委員会事務局

住 所：〒607-8033 京都市山科区四ノ宮芝畑1の9 (林)

TEL：080-4483-9224 (つどい専用) FAX：075-594-5841 (林)

メール：kyoto.tsudoi.2023@gmail.com

ホームページ：https://zenkokuren.jp/tsudoi/

□日程

		11:30	12:30	14:30	15:00	16:45
10月7日 (土)		受付	はじめのつどい 記念講演	休憩 移動		分科会
10月8日 (日)	受付	分科会 基礎講座	昼食	分科会	休憩 移動	おわりの つどい
	9:00	10:00	12:00	13:00	15:00	15:30 16:00

□はじめのつどい

- ❖ オープニング 12:30 マリンバ演奏 オ・サナさん
- ❖ あいさつ 12:45~13:00
- ❖ 記念講演 13:00~14:30

「子ども・若者の生きづらさと自己肯定感」

講師 たかがき ちゅういちろう
高垣 忠一郎さん

プロフィール

マリンバに魅力を感じ、14歳より始める。芸術の力で誰かの居場所になれるパフォーマーになることと、シンプルで親しみを持っていただく演奏を心がけています。

プロフィール：心理臨床家、立命館大学名誉教授、登校拒否・不登校問題全国連絡会世話人代表、京都教育センター代表。カウンセラーとして登校拒否・不登校などで苦しんでいる親と子、教職員に寄り添い、多くの著書や講演で、半世紀にわたって自己肯定感を語り続けてこられた方です。
主な著書：「揺れつ戻りつ思春期の峠」「生きることと自己肯定感」「悩む心に寄り添うー自己否定感と自己肯定感」（以上新日本出版社）、「自己肯定感ってなんやろう」「共に待つ心たち」「3・11生みの苦しみによりそって」（以上かもがわ出版）、「癌を抱えてガンガーへ」（三学出版）など多数。

□基礎講座 8日（日）10:00~12:00 登校拒否・不登校の基礎を学ぶ、お話と交流の場です。

- ❖ 1「家庭で」講師 ふくもと せいき 福本早穂さん（臨床心理士、公認心理師、親子支援ネットワーク♪あんだんて♪代表）
子どもが学校へ行けなくなった時、親は不安とあせりでどうしたらいいのかかわらなくなります。子どもの表現する言動や言葉にならない思いをどう理解し、受け止めていったらいいのか、家庭で子どもと、どのように関わり、過ごせばいいのか、また、担任の先生や学校とどうつながっていけばいいのか、一緒に学びあいましょう。
- ❖ 2「学校で」講師 かすが いとしゆき 春日井敏之さん（立命館大学大学院教職研究科教授、元京都府公立中学校教諭）
4年目を迎えているコロナ禍は、子どもや教職員の学校生活に大きな影響を及ぼしてきました。不登校の子どもたちが大幅に増加するなかで、子ども理解と学校・教育相談のあり方が改めて問われています。教職員と保護者は、子どもの権利条約を生かして、子どもの成長・回復のためにどう協働し支援していったらいいのか、一緒に考えていきましょう。

第24回 in 長崎 参加者の声

- ★初めて参加しました。悩んでいたのは自分だけではなかった。2日間だけなのにすごく温かい気持ちになりました。
- ★心の中のもやもや。参加する前は気が落ち込み、ハア～ため息でした。分科会で心の思いを聞いてもらいました。一人ひとりの思いも聞けました。心と心がつながり、結び合っていくのがわかりました。感謝。
- ★親が親自身の人生を生きることが、子どもにとっても大切だと改めて思いなおしました。

□分科会

分科会は出入り自由です。わからないことがありましたら、総合受付にご相談ください。

- * 10/7(土) 15:00~16:45
- * 10/8(日) 10:00~15:00

①小学生の登校拒否・不登校

幼稚園・保育園等への行きしぶり、入学早々の登校しぶりや学年途中で行けなくなる子どもが増えています。休んでしまうと長引かないかと心配になります。親と子のかかわり、学校とのかかわりなどについて語りあいましょう。

②中学生の登校拒否・不登校

学校生活の変化へのとまどいや息苦しさ、思春期特有の心の揺れ、友達や先生とのかかわり、進路のことなどがいっそう子どもの悩みを深めています。子どもの思い、親と子のかかわりなどについて語りあいましょう。

③高校生の登校拒否・不登校

高校に行けなくなると、不安や焦りの中で子どもは悩みながら自分と向きあい、進路や生き方を探すようになります。留年・転校などゆれながら将来を模索する子どもを、親はどう見守りどうかかわればいいのか語りあいましょう。

④障がいがある子どもの

登校拒否・不登校

子どもに障がいがある、またはあるかもしれないと悩んでいる親と教師、関係者が交流しましょう。発達障がいなどについても、悩みや不安を出しあいましょう。

⑤学校とのかかわり・学校づくり

子どもたちの成長・発達を見つめ、学校に行けない、行きづらい子どもを支えるために、親や教師は何かができるでしょうか。ともに手をつなぎ、子どもが主人公の学校を作っていくにはどうすればいいのか語りあいましょう。

⑥青(成)年期をとともに生きる

学校から離れると、その「しぼり」から解かれる一方、親も子どもどこにも所属していないという不安がつのります。また、人や社会とのかかわりに困難を抱えている青(成)年、ひきこもり状態にある青(成)年の本人・家族の悩みを語りあい、交流しましょう。

⑦さまざまな進路自立に向かって

学校に行けなくなると、進学や就職、将来の生活まで閉ざされてしまうのではと不安になります。自分をじっくり見つめることも、自立への営みではないでしょうか。自立とは? さまざまな進路とは? たっぶり語りあいましょう。

⑧居場所とは

A 学齢期の子どもが安心できる居場所とは? 行政の教育支援センターなども含め子どもや親の願いに応えられる学校内外の居場所について語りあいましょう。

B 青年が安心して集まり交流できる「場」とは? 自立に向けてどんな支援や援助体制が求められているのでしょうか。また親には何かができるのでしょうか。行政への働きかけなど、それぞれの経験を語りあいましょう。

⑨親・家族の役割と家庭づくり

子どもの成長・自立を支える上で親・家族の援助は大切です。家庭が安心できる場になると、子どもは落ちつきを取り戻します。親の生き方や価値観が問われることもあります。親や家族はどう子どもを見守ればいいのか。交流し、語りあいましょう。

⑩手をつなぐ輪を広げて

わが子の登校拒否・不登校に悩む親たちが、地域でどう手をつないでいけばいいのでしょうか。「親の会」の活動のあり方は? 地域の「親の会」と相談機関や学校・行政とのかかわり、専門家との連携などについても語りあいましょう。

⑪医療とのかかわり

子どもに医療的なケアが必要ではないかと悩んでいる親と関係者が交流しあう場です。医療へのかかわり方など悩みや不安を出しあい、語りあいましょう。

⑫登校拒否・不登校と「非行」

「学校に行けない」「行きたくない」「居場所がない」「学校に入れてくれない」など、息苦しさを「非行」という行動で表現する子どもたちがいます。そんな心の叫びをどう受けとめ、どうかかわっていけばいいのでしょうか。

「信じて待つ」とは…家庭・学校・親の会・その他の機関との連携についても語りあいましょう。



□当事者・青年・子どもたちの“ひろば” 10/7(土)12:30~16:45 10/8(日)10:00~15:00
学齢期の子どもから青年まで、出入り自由のひろばです。遊んだりおしゃべりしたり何をしてもOKな場所です♪

□その他 10/7(土)12:30~16:45 10/8(日)10:00~15:00

- ❖おやすみどころ ゆっくりしたいな、休憩したいな、そんなとき、いつでも気軽に寄ってください。
- ❖書籍コーナー 登校拒否・不登校にかかわる本を中心に販売します。手に取ってゆっくりご覧ください。
- ❖ギャラリー 作品展示を希望する方は事務局にお問い合わせください。作品は参加者持ち込みに限ります。

○参加にあたってのご案内

- 参加費（18才以下無料） 両日参加3,500円（青年・学生2,000円）
一日参加2,500円（青年・学生1,000円）

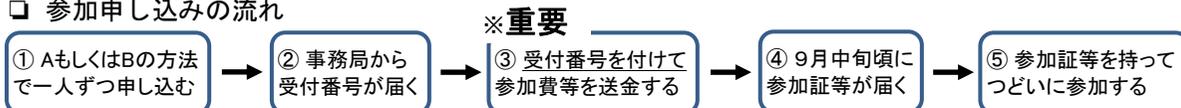
- 申込締切 8月31日（木） 締め切り後の申し込みについては事務局までお問い合わせください。

□ 10月8日（日）の昼食について

ガレリアかめおかには食堂がありません。希望者には弁当（お茶付き1,000円）の注文を受け付けます。申し込み時にご注文ください。

注文しない方は、持参または道の駅、近くのコンビニなどをご利用ください。

□ 参加申し込みの流れ



□ 参加申し込み方法 A, Bいずれかの方法でお申込みください。

- ❖ A ❖ パソコンやスマホのグーグルフォームから申し込む。

パソコンの場合（半角の英数字）

<https://onl.sc/Nxqg1cE>

エル イチ



申し込み用
QRコード

- ❖ B ❖ Aの方法以外の方は別紙に必要事項を記入して郵送またはFAX送信する。

□ 送金方法 ※金額は参加費＋弁当代（希望者のみ）

同じ住所の家族が参加する場合、申し込みは1人ずつ必要ですが、参加費等の送金については合計金額でもかまいません。**ただし払い込みの時に全員の受付番号を明記してください。**

○ゆうちょ銀行口座を持っている方

ゆうちょ銀行普通預金口座へ口座間振込（振込手数料 100円）

振込先 ゆうちょ銀行 記号14430 番号46170301 口座名義 オオツキ アケミ

○ゆうちょ銀行口座がない方（現金での支払いは下記のいずれかをご使用ください）

①振替口座へ郵便局にある青い振込用紙を使って振り込む（振込手数料152円＋110円＝262円）

振替口座番号00960-1-106812 加入者名 登校拒否・不登校を考える京都連絡会

②他銀行等からの振込（手数料は各自でご確認ください）

金融機関 ゆうちょ銀行 店名（店番）四四八

口座種別 普通預金 口座番号 4617030 口座名義 オオツキ アケミ

□ 参加証等の発送

申し込み及び参加費等の支払いが済んだ方には、9月中旬頃に参加証と詳しい案内をお送りします。

準備の都合上、できるだけ申込締切までにお申し込みください。

○ガレリアかめおかまでのアクセス

- ・JR京都駅から山陰本線（嵯峨野線）で亀岡駅まで30分。
亀岡駅から徒歩で20分。亀岡駅からタクシー・バスで7～11分。
- ・車の場合、京都縦貫道亀岡インターから国道9号線沿い。ガレリアかめおかに無料駐車場あり。

○宿泊について（各自で予約をお願いします）

- ・亀岡市内では、ビジネスホテルサンロイヤル（9号線沿い）、サンロイヤルホテル亀岡駅前（JR 亀岡駅北口）、ルートイン（JR 亀岡駅北口）、ポニー（JR 亀岡駅南口）、湯の花温泉郷など。
- ・京都市内ならアクセスのよい JR 嵯峨野線各駅近辺のホテル、京都駅近辺のホテルや旅館が便利。

○保育について

- ・会場の都合により、主催者での保育はありません。
- ・ガレリアかめおかの当日託児をご希望の方は、幼児（5ヶ月～就学前）対象で1日3時間まで（無料、3時間以上延長不可）。「全国のつどい参加者」と言って、託児室直通電話（0771-29-2708）へ1週間前までにお問い合わせください。